



③石で囲ったところに、米ぬかで魚をおびき寄せます



①ドジョウは意外とすばしっこく、悪戦苦闘する人も



②初めて見るドジョウに興味津々です



⑤ブドウは木を育てている段階で、収穫は来年以降



④トマトのハウスでは、機械で水やりを管理しているとのこと

そこで、第2回目の活動で再び越沢集落へ。集落の水路にドジョウが生息しているという話を聞き、隊員の目が輝きます。早速、集落の方から捕り方を教わり、下流でたも網を構えて、上流から追い込むと、たも網の中にはドジョウの姿が。普段中々できない体験に、隊員たちの気分も高まり、すっかり熱中している様子でした。

その後は、近くの川で水遊びをしたり、集落の方が子どもの頃にやっていた魚捕りの方法を教えていただいたりと、童心に帰って楽しめました。

また、集落の方がトマトやブドウを栽培しているハウスも見学させていただきました。隊員が栽培方法について熱心に質問したり、集落の方から「来年は収穫を手伝いに来て。」という声をかけられたり、とても良いつながりができた活動となりました。

隊員の声



ぶし 夏樹さん（新潟市）

30年ぶりにドジョウを触りました！川遊びが気持ち良く、ハウスも見学させていただき、とても贅沢な一日でした。

集落の方の声



さいとう 齋藤 もと基 さん（越沢集落）

百姓やってみ隊の方々が楽しそうにしているのが嬉しかったです。私たちが昔を思い出して楽しむことができました。

魅力的な資源を 活かして

今回の越沢集落での活動を通じて、隊員の皆さんは、普段中々できない貴重な体験をたくさんしました。中には、「また来年も企画してほしい！」という声もありました。

このように、山北には、地域外の人から見ればとても魅力的な自然、生業、行事などがたくさんあります。

地域の担い手が減る中、魅力的な資源が豊富な山北と、それらに惹かれる地域外の人たちをつなげる窓口として百姓やってみ隊を継続していきたいと考えています。

地域の皆さんからも、「私の集落には、こんな魅力がある！こんなことができる！」といったお話をいただけると嬉しいです。

ぜひ、一緒に地域外の人たちとのつながりを作っていきましょう！

令和2年度「百姓やってみ隊」活動実績

回数	期日	活動内容 ※かっこ内は集落名など	参加者数
第1回	7月11日(土)	・焼畑に使う杉の葉運搬（越沢） ・名水巡り（大毎「吉祥清水」、中継「四十手清水」）	14人
第2回	8月1日(土)	・焼畑準備、トウモロコシ収穫、蕎麦種まき ・ドジョウ捕り、川遊び、ハウス見学（越沢）	11人
第3回	9月12日(土)	・シーカヤック体験（桑川） ・カボチャ収穫 ・大根&玉ねぎ種まき	16人
第4回	10月10日(土)	・サツマイモ&赤カブ収穫 ・焼き芋体験 ・赤カブ漬け体験	14人
第5回	10月24日(土)	・林業体験（大谷沢） ・アロマオイル作り体験	15人
第6回	11月7日(土)	・大川のコド漁見学（府屋） ・玉ねぎ植付け ・大根&長ネギ収穫 ・蕎麦の選別	14人
第7回	12月5日(土)	・手打ち蕎麦体験 ・木工細工体験 ・大根&長ネギ収穫	13人

延べ 97人